

文教生活常任委員会資料

(所管事務調査)

令和2年11月19日

文教生活常任委員会（所管事務調査） 提出資料

資料1 いじめに関する研修（教職員研修）の対象者数と受講者数 …… 1

資料1 いじめに関する研修（教職員研修）の対象者数と受講者数

1 学校教育課開催分

年度	テーマ	講師	対象者	対象者数	受講者数
R2	生徒指導連絡協議会全体会 いじめに関する研修	生徒指導担当指導主事	・生徒指導担当教員（各校1名）	37名	約50名 （関係機関※含む）
	「子ども理解とチームとしての指導、支援 ～いじめへの初期対応、部活動や学級・学年対 応など～」	立命館大学大学院教授 春日井 敏之氏	・生徒指導担当教員（各校1名） ・上記以外の教員（各校1名）	74名	72名
	宝塚市いじめ問題調査報告書 提言を受けて	宝塚市教育委員会指導主事	・全教職員	各校で実施	各校で実施
R1	生徒指導連絡協議会全体会 いじめに関する研修	生徒指導担当指導主事	・生徒指導担当教員（各校1名）	37名	約50名 （関係機関※含む）
	いじめ問題の理解と対応～「チーム学校」から 「チームング学校へ」	愛媛大学名誉教授 平松 義樹氏	・管理職（各校1名） ・生徒指導担当教員（各校1名） ・上記以外の教員（各校1名）	111名	95名
H30	生徒指導連絡協議会全体会 いじめに関する研修	生徒指導担当指導主事	・生徒指導担当教員（各校1名）	37名	約50名 （関係機関※含む）
	「いじめ」問題から学ぶリスクマネジメント	前大津市教育長 桶谷 守氏	・管理職（各校1名） ・生徒指導担当教員（各校1名） ・学年生徒指導担当教員（各校1名）	111名	84名

※県教育委員会、警察、阪神北サポートセンター、保護司等

2 教育研究課開催分

(1) 校長研修

年度	テーマ	講師	対象者	対象者数	受講者数
R2	「次世代の学校づくり」と「校長のリーダーシップ」【オンライン研修】	鳴門教育大学教授 久我 直人氏	校長	37名	34名
	「学校と保護者のいい関係づくり」	大阪大学大学院元教授 小野田 正利氏	校長	37名	1月開催
R1	「次世代の校長職～子どもの実態を踏まえ子どもに返る学校組織マネジメントの展開～」	鳴門教育大学教授 久我 直人氏	校長	37名	30名
H30	「学校現場の喫緊の課題とこれからの生徒指導」	京都市教委担当部センター長 池田 忠氏	校長	37名	26名
	「子どもの心の危機に学校としてどう向き合うか」	関西外国語大学教授 新井 肇氏	校長	37名	36名

(2) 教頭研修

年度	テーマ	講師	対象者	対象者数	受講者数
R2	「危機管理について」	阪神教育事務所学校支援チーム相談員	教頭	37名	34名
	「ネットいじめと学校」	佛教大学教授 原 清治氏	教頭	37名	29名
	「次世代の学校づくり」と「校長のリーダーシップ」【オンライン研修】	鳴門教育大学教授 久我 直人氏	教頭	37名	12月開催
R1	「子どもの心の危機に学校としてどう向き合うか」	関西外国語大学教授 新井 肇氏	教頭	37名	26名
	「問題発生に対し、いかに学校で対応を図るか」 ～事例を踏まえて～	弁護士法人流屋橋・山上合同弁護士 渡邊 徹氏	教頭	37名	33名
H30	「いじめ問題を通して校内体制を考える」 ～いじめ防止対策委員会・校内委員会～	神戸学院大学准教授、宝塚市教委SSW 大塚 美和子氏	教頭	37名	30名

(3) 現職研修

年度	テーマ	講師	対象者	受講者数
R2	「子どもたちの命を守るための防災教育」	奈良学園大学教授 松井 典夫氏	全教職員	20名
R1	トラブルを未然に防ぐ法的対応	スクールローヤー弁護士 峯本 耕治氏	全教職員	31名
	二次障害の問題をいかに防ぐか	関西国際大学教授 中尾 繁樹氏	全教職員	267名
	読み書きへの配慮が叶えるもの	一般社団法人 読み書き配慮代表理事 菊田 史子氏	全教職員	84名
	こどものSOSを受け止めるために	NPO法人ゲートキーパー 支援センター理事長 竹内 志津香氏	全教職員	34名
H30	人工知能に負けない！～心が通うコミュニケーション術～	兵庫県SC・SV臨床心理士 中村 経子氏	全教職員	37名
	教室にもユニバーサルデザインを	関西国際大学教授 中尾 繁樹氏	全教職員	226名
	発達特性を持つ子どもの居場所づくり	尾崎総合医療センター小児神経内科医長 石原 剛広氏	全教職員	119名
	いじめ事案とSSW	SSW・SV弁護士 峯本 耕治氏	全教職員	58名
	自分らしく生きる(LGBT)	大阪府立柴島高校教諭 渡部 花観氏	全教職員	97名

3 青少年センター開催分

年度	テーマ	講師	対象者	対象者数	受講者数
R2	発達特性の理解と実践 ～子育てから自立に向けて～	尼崎総合医療センター 小児科 石原 剛広 先生	・保護者 ・育成関係者(※1)	定員50名 (※2)	51名
	発達特性の理解と実践 ～レジリエントな生き方を考える～	尼崎総合医療センター 小児科 石原 剛広 先生	・保護者 ・育成関係者	定員50名 (※2)	52名
R1	発達特性の理解と関わりについて ～自己肯定感をもち、自立するために～	尼崎総合医療センター 小児科 石原 剛広 先生	・保護者 ・育成関係者	定員80名	141名
	困っている子どもを理解する	大久保クリニック 精神科 大久保 圭策 先生	・保護者 ・育成関係者	定員80名	125名
H30	愛着形成を促し、自尊感情を高めるための 発達特性の理解と関わりについて	尼崎総合医療センター 小児科 石原 剛広 先生	・保護者 ・育成関係者	定員80名	135名
	「困っている子ども達を理解する」 ～子どもの自立心の育て方を学ぶ～	NPO法人ラヴィータ研究所 米田 和子 先生	・保護者 ・育成関係者	定員80名	68名

※1 教員、保育士、育成会指導員、児童館職員、放課後デイ職員 等

※2 R2の参加人数については、コロナ対策のため定員を制限した。

